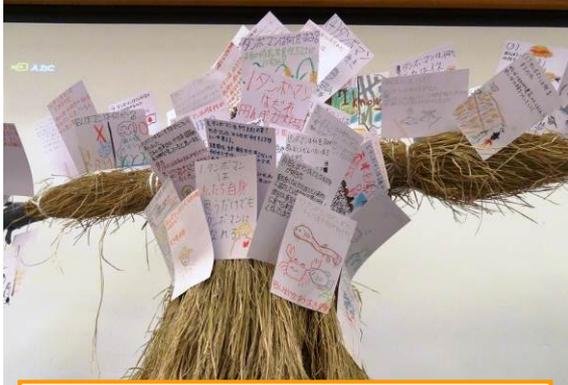


# 佐渡米通信 こめ〜る 8月号



最後に大きな人型の藁をタンボマンに見立て、皆で考えた「タンボマン」を貼り付けていました。

## 「Tamboman」は何者？一田めになる学校 2013—

今年で、4回目を迎える「世界一田めになる学校 in 東京大学 2013」。兵庫県豊岡市、宮城県大崎市、新潟県佐渡市、そして今年は新たに栃木県小山市が加わって、4地域子ども達が参加。観覧席にいる会場のお客さんと一緒になって「田んぼの生きもの大切さ」について学びました。東京大学の教授が、校長先生となり、いろいろな分野の先生をお迎えしての授業を行ないました。図画工作の時間では、オリジナルキャラクター「Tamboman (タンボマン)」を題材に、「タンボマンは誰で」・「どこからきて」・「何をしていた」「どんな生きものが好きか」など、皆で考えました。「タンボマンは田んぼの生きもの全てが好き」「自分たち自身で、思うだけ

でタンボマンになれる」など、様々な意見が出ていました。また家庭科の時間では、4市のお米で作ったスイーツを試食しました。



さどっ粉  
シフォンケーキ

←絵や文章にして「タンボマン」に近づいていきました。



## 「佐渡トキめきツアー」を行ないました！

島外のお客様を向かえ、2泊3日の佐渡ツアーを行ないました。金山やたらい舟などの、観光スポットを巡った他、メインであるピオトープ作りを行ないました。7月28日に行なったピオトープ作りでは、佐渡市新穂地区で佐渡市（Kids 生きもの調査隊）・新潟市・七尾市（石川県）の子供達と一緒にピオトープ作りと生きもの調査に挑戦しました。



佐渡おけさ体験



大黒様も登場！



ピオトープ作り



佐渡の「かあちゃんたち」の手作り料理で朝食



ピオトープ作りは、水辺の会の皆さんに、ご指導いただきました！

## 島内最大の米集約施設 完成

今年2月より工事を進めてきたJA佐渡の「新畑野農業倉庫」が完成し、今月6日に完工式が行なわれました。常温倉庫と低温ラック倉庫の複合施設で、佐渡市内最大を誇ります。また、今回初めて電動ラック式の棚を採用し、これまで手作業で行なわれていた入出庫などの作業が省力化されると同時に、地域別や栽培別出庫等の取引先からの要望に一部対応できるようになりました。



編集人：佐渡農業協同組合  
営農事業部米穀販売課 渡部・古城(ふるぎ)  
[beikokuka.hanbai@ja-sado-niigata.or.jp](mailto:beikokuka.hanbai@ja-sado-niigata.or.jp)

発効日：平成25年8月